



# スポーツフォーラムなら2022 第8回スポーツを“マジで”考える会。。。in 奈良

～教育とスポーツ、地域を考える：地域スポーツクラブの役割と展望～  
(ハイブリッド開催)



2022.6.18 (土) 13:30～15:30

13:00開場・受付開始

申込締切：6月18日(土) 12:00

奈良市 保健所・教育総合センター  
(はぐくみセンター) 9階 大講座室

(奈良市三条本町13番1号、JR奈良駅より徒歩3分)

会場一般参加費：¥2,200 (70名先着順)

オンライン視聴：¥1,500

ならスポーツクラブメンバー：¥1,000

(価格には、税、企画・運営・資料代を含む)



お申し込みは上記の  
QRコードをご利用ください

登壇者 (予定)



塩川 達大 氏

文部科学省 高等教育局 専門教育課長  
元・スポーツ庁 政策課 学校体育室室長

主催：NPO法人ならスポーツクラブ・一般社団法人TERACO舎 (テラコヤ)  
主宰：浦久保 和哉 (スポーツプランニング・プロデューサー、奈良県出身)  
後援：奈良県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会  
奈良県スポーツ協会、奈良市スポーツ協会

お問い合わせ・お申し込み

スポーツフォーラムなら2022事務局 (NPO法人ならスポーツクラブ)

(メール) [forum@nara-sc.jp](mailto:forum@nara-sc.jp)

(申込サイト) <https://8th-think-about-sport-majide.peatix.com/>

お申し込みは上記のQRコードか、下記のHPからお申し込みください。  
(メールは問合せのみとなります。)



## ■開催趣旨

日本では「明治」に近代スポーツが導入、「昭和」「平成」、現在の「令和」となり、昨年、コロナウイルス禍で「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」が開催されました。2022年、北京オリンピック・パラリンピック開催最中のロシアのウクライナ侵攻、近年の自然災害の多発や進む地球温暖化といった、世界レベルでの社会や環境の変化や不安定さや不確実性は増しています。

一方、過去30年、日本の成人の運動・スポーツ実施率は上昇、スポーツのプロ化と産業化が進み、運動部活動の改革が叫ばれ、社会や経済情勢とスポーツ自身やその環境変化も著しい変化の中、スポーツの地域活性化への期待も高まりもあります。そういった中、地域スポーツクラブのあり方は、教育とスポーツの課題と変化の狭間でまだまだ成熟したとはいえない状況です。

## これからの「地域スポーツ」と「運動部活動」はどのように進み、変化していくのか？

我々の社会や生活が激変と混沌を迎える中、日々のスポーツ活動はどのような新常态をめざすのか？「地域振興」「産業化」といったキーワードも見え隠れする中、地域スポーツを展望します。

本フォーラムでは、教育行政に従事され、過去に地域スポーツクラブ、運動部活動の改革などの推進に尽力されてきた**文部科学省 高等教育局 塩川達大 専門教育課長**をゲストに迎え、今後の「**教育環境の変化**」「**地域スポーツへの期待**」などのお話もいただきながら、皆さまと一緒に地域スポーツのあり方を議論できれば幸いです。「**地域スポーツの推進**」「**運動部活動の改革**」「**働くことと余暇の充実**」「**仕事のあり方**」「**子どものスポーツ環境**」「**教育の未来**」「**地域の活性化**」など、様々な観点から、スポーツのあり方について、考える時間を皆さまと一緒に共有しようと思います。

司会・進行は、奈良市出身で20年超、スポーツ業界で奮闘するスポーツプランニング・プロデューサー「浦久保 和哉」が務めます。なお本会は、来年15周年を迎える「NPO法人ならスポーツクラブ」と浦久保と「スポーツを“マジで”考える会。。。」を開催する「一般社団法人TERACO舎（テラコヤ）」が共催します。

## ■スケジュール

- 13:30～13:35 オープニング・趣旨説明 (NPO法人ならスポーツクラブ 理事長・北 良夫)
- 13:35～13:55 スポーツの現況と課題 (浦久保 和哉)
- 13:55～14:25 **教育と地域スポーツの展望 塩川 達大 文部科学省 高等教育局 専門教育課長**  
(元・スポーツ庁 政策課 学校体育室 室長)
- 14:30～15:25 ディスカッション：地域スポーツの未来と展望
- 15:25～15:30 まとめ

※演題や内容・進行は現時点の予定で、主催者側の都合で、予告無く変更する可能性があります。

※お申し込み時に頂戴する情報は、今後、本セミナーに係る情報提供やご案内、ならスポーツクラブ、TERACO舎（テラコヤ）、主宰者（浦久保和哉）の活動や事業の広報等で活用させていただきます。

※会場は主催者で「新型コロナウイルス感染予防対策」を行います。ご来場者される際は、体調に異常がなく、体温が37.5℃以上でないことをご確認の上、ご来場ください。なお、新型コロナウイルスの感染状況や行政機関の施策や施設管理者の決定に合わせ、開催については適宜、判断、対応することもあります。予めご承知おきください。それらの情報は、本会のホームページ等でご案内します。

## ■主宰者（浦久保和哉）プロフィール

1973年奈良県生まれ、48歳。鼓阪小・若草中・郡山高卒。金沢大学教育学部スポーツ科学課程卒業（体育学士）、大阪体育大学（体育学修士）、2000年に三菱総合研究所に入社、笹川スポーツ財団、スポーツ事業会社を経て、2010年からフリーランスかつ東京マラソン財団マーケティング本部リレーション推進部長、大阪体育大学学長室ディレクター、同スポーツ局統括ディレクターなども兼職兼業で歴任。日本大学・早稲田大学ほか、複数の大学や各種研修の講師も務める。著書「スポーツビジネスを知るための基礎知識」ほか、複数の共著と寄稿もあり。剣道6段（2019年11月取得）。フルマラソン完走5回。東京・千葉・大阪・愛知など中心にマルチハビテーションを実施中。

